

6. 国，県，市の学力調査における本市児童生徒の学力の状況

〔対象調査〕全国学力・学習状況調査（小6・中3の4月），とちぎっ子学習状況調査（小4・小5・中2の4月），宇都宮市学習内容定着度調査（小6・中3の12月）

小学校

1 全体的な状況

- 多くの学年・教科において，平均正答率が全国・県平均・参考値（※）を上回っており，おおむね良好であるが，国語，社会，算数など一部の学年で下回る状況が見られる。
- 基礎（知識・技能）・活用（思考・判断・表現）別では，主に小4国語の活用，小6国語の基礎・活用，小6社会の基礎が県平均または参考値を下回っている。

※ 参考値は，宇都宮市学習内容定着度調査について，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率

2 各教科の状況（詳細は個別の報告書等を参照）

○：良好な状況 ●：課題

国 語

- 文章の内容を的確に読み取ること
⇒ 叙述をもとに文章の内容をとらえる問題〔全国 +3.0P，県小5 +3.2P〕
- 漢字や敬語を正しく使うこと
⇒ 漢字と送り仮名を書く問題〔市 -6.6P〕，正しい敬語が使われている文を選択する問題〔市 -5.4P〕
- 複数の情報を関連付けて書くこと
⇒ 複数の資料から問いに合わせて必要な情報を抜き出し，まとめて書く問題〔市 -3.5P〕

社 会

- 情報や情報通信技術が，産業の発展や国民生活の向上のために活用されていることへの理解
⇒ 資料から産業における情報活用の現状を正しく読み取る問題〔市 +7.7P〕
- 地図帳や地球儀，統計などの各種の基礎資料を通して情報を適切に調べまとめる技能
⇒ 資料から小麦の自給率として正しいものを選択する問題〔市 -13.6P〕，
地図から元との戦いに備えて築かれた防塁の位置として正しい場所を選択する問題〔市 -7.9P〕
- 基礎的な知識の定着
⇒ 「公害」についての理解を問う問題〔市 -18.9P〕，「雪舟」についての理解を問う問題〔市 -9.2P〕

算 数

- 図形の面積の求積方法の理解や，内角の和を求める方法を説明すること
⇒ 三角形の面積を比較する問題〔全国 +11.7P〕，ひし形の面積の求積問題〔市 +6.0P〕，
四角形の内角の和の求め方を説明する問題〔市 +15.2P〕
- データ分析に必要な代表値の意味についての理解
⇒ ドットプロットから最頻値と中央値を読み取る問題〔市 +17.0P〕
- 問題場面から基準量と比較量を読み取り，テープ図等をもとに立式すること
⇒ 2種類のリボンにおいて，一方がもう一方の何倍になるかを分数の式で表す問題〔市 -7.0P〕

理 科

- 日常生活との関連を理解し，表現すること
⇒ 夏に線路のレールのつなぎ目がない理由を金属の体積の変化に着目して考え，表現する問題〔県小5 +3.1P〕，
台風の風による被害についての理解を問う問題〔市 +9.8P〕
- 植物の体のつくりについての理解
⇒ 植物の体のつくりの共通点を指摘する問題〔県小4 +2.1P〕，
茎を縦に切ったときの断面の様子についての理解を問う問題〔市 +11.2P〕
- 実験の条件を変えた時に，どの要因が影響を与えるかを区別すること
⇒ 振り子の振れ幅を変えたときに振り子が1往復する時間について問う問題〔市 -3.3P〕

※ 表中の〔± P〕は，全国学力・学習状況調査については全国平均，とちぎっ子学習状況調査については県平均，宇都宮市学習内容定着度調査については参考値との差。

中学校

1 全体的な状況

- ほとんどの学年・教科の平均正答率が、全国・県平均または参考値（※）を上回っており、おおむね良好な状況である。
- 基礎（基礎・基本）・活用（思考・判断・表現）別では、ほとんどの学年・教科において、県平均または参考値を上回っている。

※ 参考値は、宇都宮市学習内容定着度調査について、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率

2 各教科の状況（詳細は個別の報告書等を参照） ○：良好な状況 ●：課題

国 語

- 情報と情報との関係について理解し、まとめること
⇒ 読み取ったことや調べたことをノートやチラシに整理してまとめる問題〔県 +1.9P, 市 +7.7P〕
- 文章を読み、ある表現の文章上の効果について考察すること
⇒ 文章を読んで、表現の効果について考える問題〔全国 +3.3P, 市 +4.8P〕
- 単語や文節など、言葉の単位についての理解
⇒ 文を単語に分ける問題〔県 -2.3P〕

社 会

- 習得した知識や技能を活用して考察したり、表現したりすること
⇒ 基礎的・基本的な知識や技能を活用する問題〔県 +1.7P, 市 +11.2P〕
- 地理的分野の理解
⇒ 資料から読み取った情報と気候の特色を関連付けて、促成栽培の利点を説明する問題〔市 +22.7P〕
- 基礎的な知識の定着
⇒ 年代の表し方についての理解を問う問題〔市 -1.5P〕、資料をもとに、「打ちこわし」についての理解を問う問題〔市 -9.5P〕、資料をもとに、「公共の福祉」についての考え方を表現する問題〔市 -3.9P〕

数 学

- 基本的な作図の方法についての理解
⇒ 垂直二等分線を作図する問題〔県 +4.7P, 市 +4.6P〕
- 関数の式をグラフに表すことや、グラフの特徴から適切に判断すること
⇒ 2種類のグラフの特徴を読み取り、比較して考察する問題〔市 +23.0P〕
- 数概念の基本的な理解や、因数分解や式の展開及び乗法公式の活用
⇒ 自然数の意味理解を問う問題〔全国 -2.0P〕、乗法公式を使って式を簡単にする問題〔市 -11.5P〕

理 科

- 物質の性質についての理解
⇒ アンモニアの性質を問う問題〔県 +3.5P〕、水素の性質を問う問題〔市 +6.9P〕
- 実験結果から考察をすること
⇒ 正しい考察になるよう書き直す問題〔県 +3.2P〕、実験結果から、だ液のはたらきを考察する問題〔市 +8.3P〕
- モデル実験が必要な事象についての理解
⇒ 前線の断面の様子についての理解を問う問題〔市 -6.6P〕

英 語

- 対話の内容を聞き取り、その意味を理解して適切に答えること
⇒ 対話の内容を聞き取り、適切に応答する問題〔全国 +4.4P, 県 +3.8P, 市 +8.5P〕
- まとまりのある英文を読み、必要な情報や概要を把握すること
⇒ 英文を読み取り、適切なグラフや表を答える問題〔全国 +2.3P, 県 +3.3P, 市 +11.5P〕
- 文法事項や言語の働きなどを理解し、正確に書くこと
⇒ 疑問詞を用いた疑問文を書く問題〔全国 -2.6P〕、文構造や文法事項の理解を問う問題〔市 -19.8P〕

※ 表中の〔± P〕は、全国学力・学習状況調査については全国平均、とちぎっ子学習状況調査については県平均、宇都宮市学習内容定着度調査については参考値との差。